

□平成 30 年度 事務事業評価(平成29年度実施事業事後評価)シート / 平成 31 年度 実施計画調書 (□新規 拡充 □縮小 □休止・廃止 □現状維持)

1 事務事業の基本情報 位置付けられている計画等で『その他の計画』が複数ある場合は、代表的なものを1つ記入してください。また、該当する根拠法令及び市条例等が複数ある場合、代表的なものを1~2個記入してください。

事務事業名	道の駅整備事業費			補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単	終期	<input checked="" type="checkbox"/> 決まっている (平成 34 年度まで) <input type="checkbox"/> 決っていない		予算科目	一般会計			款	8	項	4	目	2	事業	2
担当部	都市建設部	担当課	産業拠点整備課	担当係	道の駅整備推進室整備係	係	作成者	木所登志三	内線(電話番号)	2810	シート作成日	H30.10.22	部長決裁日	H30.10.24						
位置付けられている計画等	<input checked="" type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input checked="" type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input checked="" type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input checked="" type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画 (名称: 常総市道の駅基本構想・同基本計画検討書)			根拠法令及び市条例等	<input type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称:) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称:) <input type="checkbox"/> 市の条例・要綱・規則等 (名称:)															

2 事務事業の目的 当該事業を実施することで、①「望ましい状態」とはどのような状態か? → ②一方で、「現状や課題」はどうか? → ③そのためには何をすべきか? という過程で考えていただいても結構です。

現状課題	アグリサイエンスバレー構想では、農業生産者の所得増大を目指す取り組みとして、地域農産物の販路拡大として販売拠点の確保が求めている。また常総ICと国道294号の広域交通結節点であり、市街化編入されたことも踏まえ、特性を生かした地方創生の交流拠点整備が期待されている。これらふまえて、構想実現のため「農業を活かしたまちづくり」の拠点施設として、IC周辺に道の駅を整備する考え。29年度は基本構想及び基本計画検討書を策定。今年度は本検討書をもとに、市民意見・外部有識者会議の意見をふまえて、基本計画を策定予定。今後の課題として、来年度の指定管理予定者募集に向けて、施設の収益構造等を明らかにし、事業収支計画を精査するため、「管理運営計画」を策定することが必要である。	誰・何を対象に ①販路拡大・産業振興(市内の農業従事者および商工業者) ②交流拠点の創出(市民・観光客等)	望ましい状態 構想実現のため「道の駅」を活用するメリットとしては、①公共施設として長期的な地域活性化のまちづくりを行う。②戦略的中核拠点として、農産物等による地域資源を生かした新たな価値の創造ができ、地域に利益を還元できる市民のための施設とする③農業との親和性が高く、市の基幹産業の強みを生かせるチャンス④道の駅は年間数十万人が訪れる地域の集客施設であり、交流・イベントの場としての地方創生のための交流拠点に最適である。これらのメリットを最大限に活用し、地域ぐるみでの6次産業化に向けた取組を中心に、地域企業や公共施設と連携し、市内の地域資源(特産品や観光資源等)が相互に繋がるネットワークを形成することで、地方創生の拠点づくりを目指す。
------	--	--	--

3 事務事業の主たる成果指標 数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。

指標名	道の駅整備進捗率	単位	%	目標値	100	目標年次	平成 34 年度	指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)	道の駅の整備が目標である。
-----	----------	----	---	-----	-----	------	----------	-------------------------------------	---------------

4 事務事業の実績 ① 当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。

年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度						
	業務名	活動量	業務名	活動量	業務名	活動量					
事務事業を構成する主な業務	①		①		① 常総市道の駅基本構想策定業務委託	1委託					
	②		②		② 同 基本計画検討書策定業務委託	1委託					
	③		③		③						
	④		④		④						
	⑤		⑤		⑤						
	⑥		⑥		⑥						
	⑦		⑦		⑦						
	⑧		⑧		⑧						
	⑨		⑨		⑨						
	⑩		⑩		⑩						
	⑪		⑪		⑪						
	⑫		⑫		⑫						
目標値に対する実績値		%	目標値に対する実績値		%	目標値に対する実績値	10	%			
決算額	計	円	内訳	特定財源	円	計	14,599,440	円	内訳	特定財源	円
				一般財源	円					一般財源	14,599,440
(住民一人あたりの行政コスト)		0.00000	円	(住民一人あたりの行政コスト)		0.00000	円	(住民一人あたりの行政コスト)		241,46872	円

5 担当者評価 ② 実施したことによる成果や問題点を記入してください。

成果	成果内容
問題点	

6 担当部長及び担当課長評価 ③ 担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。

事務事業の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
評価理由	

7 実施計画 ④ 今後3年間の事業内容について、どのようなことを実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の「歳出の計」と「歳入の計」は一致させてください。

年度	平成30年度		平成31年度		平成32年度							
事業内容	●道の駅基本計画策定		●道の駅管理運営計画策定 指定管理予定者の公募要件や道の駅事業の精査のため管理運営計画を策定。 ※管理運営計画策定予算(案):10,000千円 ●道の駅指定管理者選定公募プロポーザル実施 上記管理運営計画をもとに、公募要件を設定し公募プロポーザルを実施。		●アグリサイエンスバレー構想事業化検討委託業務 当市の道の駅はアグリサイエンスバレー構想実現のための「農業を活かしたまちづくりの拠点施設」として位置づけていることから、それらのノウハウを有する者を指定管理予定者として選定する考えである。なお開業準備に要する人件費や事務費等は指定管理予定者による負担を想定するが、それらの業務範囲外となる、農地エリアや都市エリアとの連携内容など、アグリ構想実現化に向けた全体的なコーディネート等の役割や事業化検討については別途、業務委託を行う必要がある。 ※予算(案)4,000千円 ●道の駅指定管理予定者業務委託 打ち合わせ等の際の旅費交通費等の実費相当分 ※予算(案)500千円 ●基本設計・実施設計(翌年度繰越) 公募型プロポによる基本設計業者の選定、基本設計書の作成。 ※基本設計・実施設計予算(案):60,000~70,000千円 ●用地取得費債務負担行為(8月補正予算) ※520,000千円(13,000㎡×40千円/㎡)							
予算額	歳出	計	160	千円	歳出	計	10,000	千円	歳出	計	74,500	千円
		特定財源		千円		特定財源		千円		特定財源		千円
	歳入	一般財源	160	千円	歳入	一般財源	10,000	千円	歳入	一般財源	74,500	千円
		計	160	千円		計	10,000	千円		計	74,500	千円

8 財務アドバイザーの見解

--

9 行政改革懇談会(市民)の意見

--

10 最終評価(行政改革推進本部) ⑤

事務事業の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
評価理由	

11 事務事業の改善理由 ⑥ 実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止・廃止部分もこの欄に記入してください。

事業内容	30年度に策定する基本計画をもとに、31年度は下記の事業を行う考えである。 ① 管理運営計画の策定 指定管理予定者の公募要件や道の駅事業の精査のため管理運営計画を策定。 ② 指定管理予定者を選定 上記①をもとに、公募要件を設定し公募プロポーザルを実施。 32年度以降、指定管理予定者とともに、農商工関係者と出荷者組合の準備を進めるほか、管理運営方法を具体的に協議し、またアグリサイエンスバレー構想実現に向けた事業化検討等も行っていく考えである。このほか、土地区画整理事業の進捗にあわせ用地取得に向けた債務負担行為を行う考えである。
------	--